

会議録

日時	令和6年10月21日(月)9:00~12:00	場所	北区役所 302・303 会議室
会議名	第2回新潟市北区文化会館 指定管理者申請者評価会議		
出席者	評価委員…中東雅樹、遠藤由美、藤田典子、風間良光 事務局……北区産業振興課 (担当:文化・スポーツグループ)		

公開プレゼンテーション・質疑応答

【補佐】 ただいまより、申請者様によるプレゼンテーションを始めます。説明者は20分以内でお願いいたします。

なお、議事録作成のため、質疑応答については録音させていただきます。それでは、プレゼンテーションをお願いいたします。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】プレゼンテーション

【補佐】 ありがとうございます。それでは、質疑応答に入ります。質問のある委員の方から、順次お願いいたします。

【風間委員】 令和6年5月1日から令和7年4月30日までの経常利益が概ね2億円ほどマイナスとなっている説明と、経営を安定化させていく方法について記載があるが、内容を具体的に伺いたい。

もう一点、関連会社について、子会社に3年間で約1億1千万円貸付が増えている。子会社、関連会社の状況について伺いたい。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

来期の2億円の貸付については、2点目の質問とも重なります。私どもは、ビルメンテナンスを中心とした会社ですが、グループ会社として、清掃資機材を扱う商社がありました。この商社が10月31日をもって解散・閉鎖となりました。創業当初から、弊社の資機材はこの商社で扱ってきましたが、今ではインターネット等でも資材が買えるため、資材が売れないという状況でした。経営改善を図るために貸付を行ってきましたが、その部分への貸付額が多くなりました。これ以上資金を投入しても、経営改善が見込まれないということで解散となります。その貸付金が負債の大きな原因です。資材については、引き続き本社で取り扱うこととなっております。

2点目についてですが、グループ会社として、ベットメイク等のホテル事業を立ち上げて3年目になりました。立ち上げた頃にコロナ禍となり、大幅にホテルの稼働が減少しました。ベットメイクの人員は、九州をメインで展開していますが、賃上げも厳しく、一度離職してしまうと従業員を確保することが難しいため、雇用の確保を続けました。

かたや、ホテルの稼働が減少したため、そこに対しての本体からの投資が多かったということです。現在はコロナ禍も明け、インバウンドも戻り、値上げの交渉もクライアントと行

っています。今期は黒字になるかと思っています。

経営に関しては、来季に向け、ビルメンテナンス部分の、管理部門、営業部門の見直しを図っています。現場の清掃・設備側と管理部門の間に人を置き、パイプを太くしていこうという流れで、その人材の確保も含めてどうしていくかを検討しているところです。

【風間委員】 新社長になって、次々に新たなことをされていると感じています。

【中東委員】 指定管理文化事業について伺います。提案書 12 ページに鑑賞事業が掲載されており、17 ページにも詳細が書かれていますが、このあたりがおしなべて赤字になっています。指定管理料として充てんされている部分の大半が赤字の補填となっている状況です。赤字が過ぎるかなという気がします。

事業の選択について、どのようなお考えの基に選択しているのかお聞かせいただきたい。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

今回の年間計画については、指定管理の申請の関係もあり、いつもより早めに計画を立てました。評価対象事業については年間9つを実施予定です。知名度のある方や、今後注目されそうな方を招いています。文化会館のホールは557名の定員ですが、非常に響きの良いホールです。私見ではありますが、県内の中規模ホールとしては、最も響きの美しいホールだと思っています。その特性を活かしたイベントとして、生の演奏を中心とした事業が増えますが、それだけでは偏りがありますので、歌手によるコンサート等も行っています。

知名度のある方を呼んで文化会館に足を運んだことのない方にも来ていただくことで、文化会館自体の知名度を向上させることも目的としています。文化会館を知ってもらうことで、貸館の稼働率の向上にも繋がっていくのではという考えがあります。

赤字事業に関してですが、知名度のある方を呼ぶと招聘費が莫大な金額になり、赤字を出さない様にするには、チケット1枚あたりの単価が1万円前後となります。新潟県では、軒並み、チケット単価が5千円を超えると、売れなくなる傾向にあります。知名度のある方に1万円を払うようなお客さんならば、東京・関東へ交通費をかけて行ってしまいます。地方の客席が千席未満の館では、どのような事業が望ましいのかというところですが、事業経費と会場の規模のバランスをとることがなかなか難しい館なのかなと思っています。ただ、そうは言っても、クオリティーはなるべく下げたくないというところでもあります。

鑑賞事業は著名人を招聘することに経費がかかります。ただ、地方館では本来一番注力しなければならない部分なのかと。りゅーとぴあや県民会館などの招聘事業という中で、小規模館では地域に密着した事業に注力していくべきではないかと思っています。

「創造・普及・交流・発信」の部分は、正直売上は見込めない事業です。支出が非常にかかります。育成団体といわれているジュニアクラスや合唱団は月謝をいただくことが出来ませんが、それ以上の講師代もかかり、時間もお金もかかります。ですが、必要な役目であり、大事にしていきたいと思っています。鑑賞事業については、知名度のある方も年に1、2回

は呼びたいと思うので、補助金を積極的に活用しながら実施していきたい。助成金となると、申請が通るかどうかはわからないので、予算として見込んではいません。

【中東委員】 地域と連携という点では、資金等も、著名人を呼ぶ際には、地元の商工会等の協力を得ながら進めていくことも必要です。育成という話が出ましたが、あまりに赤字が出るようだとそちらに資金が使えないという事になりますので、そのあたりのバランスは今後考えていかれるかと思いますが、鋭意、弾力的に行っていただきたいと思います。

【遠藤委員】 31 ページに、コロナ禍もあり、ウェブセミナーを開催したという項目が載っていますが、その説明のなかで女性社員という項目は何を意味しているのでしょうか。

また、次ページに女性が働きやすい職場とあり、女性の働きやすい職場環境の整備の具体的な内容を教えてください。ハッピーパートナー企業のところ、従業員の63.5%が女性となっており、管理職はまだ多くないという記載があります。実際には何名いらっしゃるのか、大勢いらっしゃる女性が力を発揮できるように、具体的にどのような内容のことを行っているのかを教えてくださいたいと思います。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

ウェブセミナーにつきましては、三井住友系列のプログラムで階層別に何百というプログラムがあります。女性に関連するところは詳しく見ていなかったが、記憶にあるところは、育休の取り方についてというものや、女性の管理職としてスキルアップの方法や、どのようなアプローチをしていくかという内容だったかと思います。ハッピーパートナーで従業員の63.5%が女性であるという数字ですが、会社全体の数字になりますが、元々がビルメンテナンスの会社ですので、清掃に関しては女性の人数が圧倒的に多い状況です。ビルメンテナンスの一つの業務としてトイレ清掃がありますが、男性が女性トイレの清掃に入ることに女性からの抵抗がある場合が多いため、トイレ清掃は女性が良いというところがあり、現場での女性の人数が多い状況となります。管理職の具体的な人数としては、はっきり言えませんが、管理側では、各支店の中に企画開発、管理営業、設備、総務と部署があります。それぞれに役職者を立てています。女性が多いのは総務部で、総務部の課長、係長は女性です。また、現場の清掃リーダーは女性が多く、チームの取りまとめや、場合によってはシフト作成も担っています。新潟、長岡、練馬、東京の各支店にそれぞれ部署長がいます。

北区文化会館は、NKS・ハピスカとよさかの正社員としては女性5名、男性4名、その他担当職員でローテーションを組んでおります。

【藤田委員】 地域と一緒に賑わいを、様々な団体と連携をして、と色々なところで出てきますが、どのような団体と連携しているのか具体的に教えてくださいたい。

各団体の代表による会議の開催とありますが、私も関連する団体に所属していますが、これまで声がかかったことはありません。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

これまでの会館の共同事業としましては、2年ほど前から始めた事業になりますが、会館を利用したイベントとして、8月にはうまいもの夜市、9月はキテ・ミテ・キタ区を開催しました。今後は12月にしるきーもマルシェを予定しております。これらは観光協会や区と連携して実施しました。また、商工会と連携し、イルミネーションの点灯を行っており、今年で4年目となり、賑わいの創出に取り組んでいます。年明けには鍋グルメのイベントも予定しております。

将来的には医療福祉大学等の学校とのコラボレーションも考えており、去年は打ち合わせも行いましたが、まだ具体的な話にはなっていません。後は、地元の中高生を対象としたアナウンス・朗読教室をアウトリーチで行っています。

これまでの共催事業は、場所や資金の面にとどまっていたため、今後は共に事業を計画し、その事業を成功させていきたい。単純な貸館とにならないよう、各種団体と連携しながら事業を作っていきたいと考えています。

【藤田委員】 各種団体というのは、商工会や青年部ということでしょうか。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

これまではそうした地域振興に特化した団体が中心でしたが、今後はもちろん芸術団体とも協働していきたいと考えております。

【藤田委員】 北区内には芸術関連の団体の数も多いので、直接の関わりが深くなれば良いと思います。商工会さんからイベントの出演依頼を受けて北区文化会館で演奏することはあっても、直接依頼を受けたことはありませんでした。

直接やりとりをすることで、北区文化会館の事業についても、メンバーに声をかけて参加を募るなどの協力が出来れば集客に繋がって、赤字の解消の一つになるかなと思います。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

11月に北区音楽祭が開催されます。今年度から文化会館の主催として実施することになりましたので、これを機に連携を深めたいと思います。

【中東委員】 今後、企画立案等事業を進めていくということですが、そうなるとディレクターのような存在が必要になるかと思います。人員計画でいくとどなたが担うことになるのでしょうか。新たに人材を雇用するということもあるのでしょうか。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

現在、事業はあくまでも話しあって決めていますが、主に館長が中心となって計画しています。その他、オーソリティーと言って良い職員がいて、経験もありますので、その職員を中心に、内部で話しあっています。

【中東委員】 事業については、館長と事業担当者が担っているということですね。様々な年齢層がありますので、コラボレーションには色々と工夫されても良いかもしれませんね。

【遠藤委員】 ホワイエの日常的な活用について、学生の利用、グランドピアノの利用、高齢者が新聞や図書の読書などがありますが、日常の活用については、もう一工夫あっても良いのではないかと思います。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

学生が勉強している際にグランドピアノの演奏をして邪魔にならないようにということで、グランドピアノについては時間を決めていきたいと思います。

展示物に関して、現在は東区の東特別支援学校の展示を行っていますが、今後は北区内の学校の展示も行い、多くの方に足を運んでいただけるようにということも考えております。

【風間委員】 最後に一つ、経営の安定性という関係から、ハピスカとよさかさんの経営は当初に比べると良くなっています。繰越金については、何か月分が目安と考えておられるか伺います。

今回の決算の方は、2.5ヶ月～2.6ヶ月分の繰り越しとなっております、頑張ってきたなと私は思っています。それくらいないと駄目なのですが、どのくらいを目安にしてきたのかを伺います。

【NKS・ハピスカとよさか共同事業体】

ハピスカとよさかの人間がいないため、内情までは分かりません。

【風間委員】 昔に比べて安定してきている。任せて安心という状態になってきた。繰越金が増えすぎてもまた有効に利用していないということになりますので、今後もしっかりやっていただければと思います。最初は繰越金なしで大変な運営をしてきたと思います。

【補佐】 以上をもちまして、公開プレゼンテーションを終了いたします。なお、選定結果は10月下旬、議事録は1か月以内をめどにホームページで公表します。申請者様、傍聴者様、有難うございました。